

市政メモ 大阪港の概況

船舶数	163,187	27,796	62,971隻
船舶トン数	36,247	2,800	25,115千トン
貨物入出	8,780	928	3,403千トン
貨物入出	21,356	3,125	13,582千トン

施設現況 貨物取扱3千万トン 防波堤15,026米
航路標識24 けい船機橋15(30隻分) 同ブイ27
上屋33 倉庫2 起重機19 (市有施設のみ)

世紀の一大工事

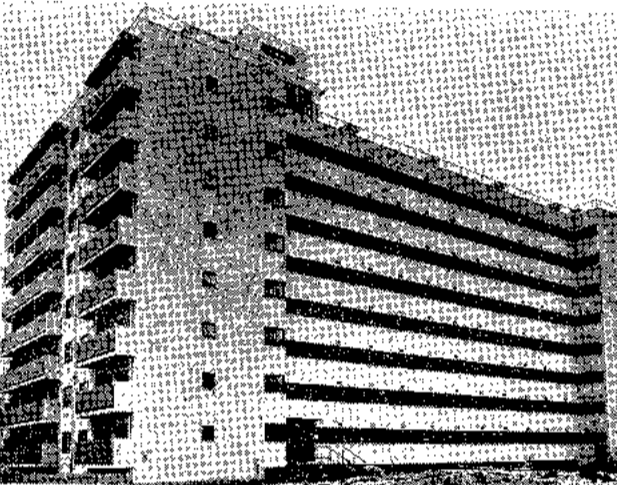
臨海工業 地域造成 十五日に起工式挙行

輸出産業の振興と大阪経済の発展を期するとともに大阪港の振興を図るため、大阪港南港の水域約百七十四万坪を埋立て、ここに市内の工場を誘致し、港湾諸施設を完備した「一大臨海工業地域」を造成する事業は、いよいよ、きたる七月十五日、南港町工事現場で地鎮祭を行い、基石を海中に投入、これに引続いて恒例の開港記念式典の際にあわせて起工式を挙げ、世紀の大事業の歴史的な第一歩を踏み出すことになりました。

2,500戸建設

本年度住宅建設計画決まる

昭和三十三年度の市営住宅と市協住宅の建設計画が、このほど、ほぼ完了しました。市営住宅は耐火住宅(低家賃)の第一種住宅に重点を置いて総費約十一億五千万円で二千四百戸、市協住宅は約九千二百戸をもち、百戸建設することになり、早いものは十月中旬ごろ、おそくとも来年三月ごろまでに完成します。



8階建エレベーター付の東区法門坂住宅

種類・団地など

市営住宅の種類、建設戸数、建設団地は、
一 第一種耐火(二般)一九三戸
二 東住吉区法門坂団地、大淀区長柄東通ほか(同耐火)
三 小家(九六戸)東住吉区天田部中通一(同耐火)
四 九〇戸(東住吉区長吉出戸町)同耐火
五 同耐火(同耐火)
六 同耐火(同耐火)
七 同耐火(同耐火)
八 同耐火(同耐火)
九 同耐火(同耐火)
十 同耐火(同耐火)

戸籍改製

新憲法に基づいて、民法、戸籍法の改正が行われ、古い「家」中心の制度から、夫婦を中心とする制度に変わりました。この結果、古い戸籍は全部、新しい戸籍に改製されることになりました。

夫婦と子どもを単位に

新憲法に基づいて、民法、戸籍法の改正が行われ、古い「家」中心の制度から、夫婦を中心とする制度に変わりました。この結果、古い戸籍は全部、新しい戸籍に改製されることになりました。夫婦と子どもを単位とする新しい戸籍制度は、従来の戸籍制度とは大きく異なる点があります。従来の戸籍は、戸主を中心とした「家」を単位としていましたが、新しい戸籍は、夫婦と子どもを単位として、個人の権利義務を明確にしています。

大阪港

道路を適正使用

千林商店街に感謝状

このほど、加区の千林商店街にアーケードが完成しました。しかもその結果、カンバンを引込めたり、アーケードにぶら下がるような状態を直すことができました。千林商店街は、商店街の活性化に大きく貢献しています。市は、千林商店街のアーケード完成を歓迎し、感謝状を贈りました。



専用列車で 小学校長会で決まる

市立小学校長会では、各小学校で、専用列車の運行を決定しました。専用列車は、小学校の通学路を確保し、安全な通学環境を整えるために運行されます。市は、専用列車の運行を支援し、交通安全を確保します。

建築監視員生る

違反発見にパトロール

違反建築物の監視員が市内のパトロールを開始しました。監視員は、市内の建築物を巡回し、違反建築物を発見し、市に報告します。市は、違反建築物の撤去を命じ、安全な居住環境を整えます。

昨年の五倍にも 激増した学校火災

激増した学校火災

このほど、市内の学校火災が激増しています。昨年の火災は、学校の火災が五倍に激増しました。これは、学校の防火設備の不備や、火災の発生原因の多化によるものです。市は、学校の防火対策を強化し、火災の発生を防止します。



市立大野病院に時局外乗用の救急外来診察室ができました。時局外に乘られる急患の方に迅速適切な治療ができるようにと、同院に救急外来診察室を改装したものです。市は、救急医療の充実を支援し、市民の健康を守ります。

結核

市民検診

ツベルクリン、BCGレントゲン(精密検査は必要の方だけ保健所でします) ▶無料◀

9月まで各校下ごとに巡回、検診地区別の日と場所は保健所からお知らせいたします。受ける機会のない方はこのさいゼヒ……

つり港

大阪港開港記念日・海の記念日

7月14日 - 21日

港海労働者慰安会大会
14日午後6時 豊洲センター前
給 行 進
15日正午から 恒久展示場裏
花 火 大 会
15日 安治川内港
市民民謡おどり大会
17・18日夜 天保山広場
内 飾 ぐり
(大船) 15日午後一時、天保山橋、申込は往復ハガキで7月9日まで 港区三条通大阪市港海労働者会へ(通につき一人、返信用ハガキは宛先明記)
(小艇) 15日正午から中央突堤 申込不要、先着三千名